

西宮市長 石井登志郎様

2021年4月13日

ストップ・ザ・アスベスト西宮代表 上田進久
中皮腫・じん肺・アスベストセンター事務長 永倉冬史

要望書

この度、安井小学校の解体とアスベスト除去工事に関する住民説明会に参加したが、西宮市のアスベストに対する問題意識の希薄さや危機管理能力について改めて不安が増強した。工事計画によれば、児童が校庭にいる状況下での工事であり、特に嚴重なアスベスト飛散防止対策が重要であることは言うまでもない。ところが、3月13日の住民説明会では参加住民から指摘されたように、配布資料もお粗末な内容で説明会の体裁を成していなかった。「建築物等の解体等工事におけるアスベスト飛散防止対策に係るリスクコミュニケーションガイドライン」に基づいた説明を求めるものである。以下に配布資料の問題点を列記する。

- ・表紙表題で「安井小学校改築工事 工事説明会」とあり、続く「工事概要」や「行程」において、最も重要な語句である『アスベスト除去』はどこにも記載されていない。
- ・また、「工事概要」において「市」とだけしか書かれていないなどリスクコミュニケーションに掲げられた「悪い事例」そのものである。
- ・さらに、アスベストに関する情報は乏しく「外壁の一部」などと曖昧な表記にとどまり、到底全体像を把握できるものではない。

また、3月24日に意見交換に参加したが、「法を守るから安心しろ」などと根拠を示さない安全神話の域を出ない主張や、拳句の果てには「法以上のものを要求するのか」や「極論」などと歪曲して強弁するなど、およそ時代に逆行する旧態依然とした西宮市行政の姿といわざるを得ない。現実の作業を熟知しない机上の計画や対策だけでは、危機管理についての問題意識が希薄となり、それによるアスベスト飛散事故の発生が危惧される。校庭に児童が居るといった状況下でのアスベスト除去は特に嚴重な飛散防止対策が求められ、専門家や学校関係者や住民らとの十分な検討が不可欠である。にもかかわらず、科学的根拠に基づいた説明や現実を想定した安全対策などの説明責任は果たされていない。そもそも営繕課は学校や公共施設を担当し、民間事業に対しては西宮市としての模範を示す立場にあると考えるが、この有様では市民生活の安全性は保障されたものではない。

この度の説明会において露呈した西宮市の対応は、石井市長の掲げる「オープン西宮」や「リライアブル」とは程遠いものであり、行政の現状を十分認識したうえで市長の責務を果たしていただきたいものである。学校の児童たちの安全を最優先した安全対策について専門家を加えた意見交換をせず、説明責任を果たさないまま工事に着手するなどという暴挙は決して許されるものではない。

以下に要望及び質問事項

1) 西宮市は工事着手前に、「建築物等の解体等工事におけるアスベスト飛散防止対策に係るリスクコミュニケーションガイドライン（環境省）」に基づいた説明責任を果たすこと。

2) 校庭に児童が居る状況下でのアスベスト除去工事は特に嚴重な飛散防止対策が求められる。中でも外壁塗り材のアスベスト除去は、発塵を伴うものであり養生においても天候などの影響を受けやすく漏洩による飛散の危険が払拭されない。外壁塗り材の除去工事は夏季休暇などに実施することを強く求める。

3) 外壁塗り材のアスベスト除去において特に下地調整剤の場合には、剥離剤に加えてディスクグラインダーを使用する計画が示された。この方法は、たとえ集塵機付きであっても実際の作業においてディスクグラインダー使用時の発塵対策の重要性が指摘されている。嚴重な隔離養生や漏洩による飛散を短時間で発見できるモニタリングなどの安全対策が必須となる。漏洩をチェックする方法としては、デジタル粉塵計を使用する（2017年11月の保護者の質問に対する回答書に記載されている）などのきめ細かいモニタリングが重要となる。ところが今回の説明では、週1回のモニタリングが環境保全課の承認を得たとして勝手に変更された。

- ・週1回のモニタリングで安全対策が万全であるという理由の科学的根拠に基づいた説明を求める。

- ・外壁塗り材の除去に関して西宮市の経験は浅く、実際の作業に伴う危険性の認識が十分とは言えない。この点に関しては、経験者、専門家やアスベスト除去業者が参加して安全対策についての再検討が必要であると考えますが、再検討する考えはあるのか。

- ・説明会で、配布資料の内容の一部を削除し変更した件であるが、「隔離養生に関して、負圧除塵機の使用や前室の設置の削除変更」は、改正大気汚染防止法の安全対策の緩和であると理解しているが、校庭に児童が居る状況下での判断としては、緩和された安全策を最低限守ればよいとする考えでは危機管理とは言えない。改正前であれば実施していたはずの安全対策を変更した理由について安全保障の点から説明を求める。

4) 学校施設のアスベスト除去工事に関して、教育委員会の安全衛生委員会などにおいてどの程度検討されているのか実績を示していただきたい。

5) 外壁などの塗り材（仕上げ材や下地調整剤）に関しては、「外壁の一部」などと曖昧な表現にとどまり、作業の全体像を明らかにしていない。作業の全体像を把握することは、専門家によるアドバイスや児童らの安全対策について検討するうえで不可欠な情報であり、調査結果をすべて公表して検討資料とすることを求める。

6) 安全対策についての再検討や意見交換をしないまま、工事開始を強行するなどという暴挙を許すようでは、今後の市民社会の安全保障において計り知れない汚点を残すことになるが、西宮市長としての判断をお示しくください。